

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターくるみ園		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3世帯	(回答者数) 3世帯 100%回収
○従業者評価実施期間	2025年4月2日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名 100%回収
○訪問先施設評価実施期間	2025年4月2日		～ 2026年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3カ所	(回答数) 3カ所 100%回収
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がい児保育に長年携わってきたスタッフによる訪問であるため、対象児の障害特性を踏まえた上で、保育園等での集団適応に向けた保育環境の調整、あそびの工夫、かかわりの留意点が具体的に伝えられること。	特性理解に努めた支援の質の向上に向けて、事業所としても様々な外部の研修に参加できるように図っている。また、事業所内でも内部研修を充実させている。	研修への積極的参加を行い、多角的に対象児の発達像を捉えられる視点をもてるように各々の支援スキルを高める。
2	訪問支援員は保育士を配置しており、あそびを中心とした取り組みの実施ができ、対象児も楽しみながら理解促進が図れるように工夫できること。	対象児の発達段階に応じたあそびの提供を行いながら、それを園の先生にも見て頂いたり、振り返りの時間を設けてフィードバックしたりして、遊びの中で見えた特性や得手不得手、必要なかわり方、どんな環境の調整ができるのかということを手言したり協働で考えたりしている。	日頃センターに通所する子どもたちの特性や発達段階に応じたあそびが提供できるよう事業所内での研修や話し合いを重ねていくことが、今後の保育所等訪問支援におけるあそびの提供にもヒントになっていく。
3	当センターでは利用児に対する個々に応じた手作り玩具や発達段階に応じた教材が多く存在する。それらを持参して個別活動に活用することができ、保育園等にも紹介したり参考にしてもらったりすることができる。	センターでは定期的におもちゃ作り、教材づくりの時間を設けている。子どもの発達段階に応じたオーダーメイドの玩具や教材を作ることは、スタッフの専門性を高める活動のひとつだと思っている。	引き続き事業所内研修の一環として、子どもの発達段階に応じた玩具や教材づくりを行い、専門性を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センターの基準に準じた人員配置を行っているが、保育所等訪問の配置については2名のスタッフとしているとともに、センター内業務と相談支援員としての業務の兼務となっており、保育所等訪問の契約数をたくさん対応することが難しい。	基準よりは多くスタッフ配置をしているが、これ以上の人員の配置については運営上の課題が出ることになる。	当センターのみの課題として検討協議するのではなく、多機能型である事業所の強みとして捉え、運営と質の担保するための中長期的な計画を協議していく必要がある。
2	当センターが乳幼児対象であることから、幼稚園保育園に通う子どもへの支援は得意とするが、小学校、特に高学年以上のステージの利用依頼があった場合には経験値が欠ける。	当センターが乳幼児対象であるため、小学校高学年以上のステージになるとかかわる経験が少ない。	弱みではあるが、ここについては敢えて対象年齢を乳幼児から低学年までとし、その後の移行支援を強化していくことを目指したい。
3	保育所等訪問支援を担うスタッフが、対外的な職務となることもあり、ある程度の経験を重ねたスタッフが行う必要があるが、次を担うスタッフの輩出が難しい。	質の高い支援を提供できる専門性、アセスメント力、そしてそれを言語化具体化して伝えるスキルを持つスタッフがセンター内にも必要な為、保育所等訪問支援などのアウトリーチの方に十分な数のスタッフをあてられない。	スタッフの確保と育成と定着を図るためのマネジメントについて、事業所内のみならず法人全体で協議検討を図っていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター くるみ園

公表日 2026年 2月 25日

利用児童数 2026年 2月 25日利用児3名

回収数 全3世帯より回収

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3				・子どもが反応しやすい遊びを準備しています。	・ご家庭でも活用して頂けるよう工夫させて頂いております。また、通園している園でも活用できるようご用意しています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					・プライバシー保護の観点を重視しております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					・分かりやすく丁寧に契約書、重要事項説明書のご説明をさせていただきたいと考えております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					・継続して日程調整は相談の上させて頂きます。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3					・基準上の人数配置を満たしております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					・お子さんの発達過程にコミットした支援を提供できるよう努力を重ねます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					・より精度の高い計画が作成できるよう、検証していきたいと思っております。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					・少し弱い感じがしています。保育園の先生方のご意向がしっかり盛り込めるよう計画の中身を検証致します。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					・ガイドラインの遵守は心がけております。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					・随時面談でも確認させて頂きたい。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					・皆さんの保育空間をお借りしております。子ども同士が繋がり、楽しみ合える支援を心がけたいと思っております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					・児発管よりさせて頂いております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1			・親子のコミュニケーションが深められるよう、必要に応じて実施したいと思っております。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					・毎回の面談では家庭での様子も丁寧にヒアリング下さり、支援にも取り入れて下さっています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					・いつも安心して面談、相談できます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					・ありがとうございます。引き続き面談をさせていただきます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					・ありがとうございます。引き続き支援力を磨いていきたいと思っております。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				・月2回の支援で、面談1回、TELでのフィードバック1回を設けて頂いています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			2	・くるみ園の園だより等で運動できるか協議したいと思います。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	1		1	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1		1	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				・はじめは緊張していたようですが、今ではすっかり先生を覚えて声を掛けると嬉しそうに近づいてくるそうです。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				・子どもの関りや発達支援について勉強になります。遊びは家庭でも取り入れています。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日 2026年 2月 24日
児童発達支援センターくるみ園	利用児童数 2026年 2月 24日時点利用児3名 回収数100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・クラスの子ども達も興味を持っていることを個別支援に反映してくれる為、担任も助言や説明が理解しやすく、クラス活動に取り入れることが出来ている。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		・担当保育士の子どもへの思いやクラスの保育内容を考慮しながら専門性を活かした具体的な対応について助言を頂けていることで、職員間で保育の方向性や意識統一を図ることが出来ている。	・知識及び支援力向上の為に研修会等へ積極的に参加したいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			・保育していく上での悩みに対して、担任の思いに共感しながら適切な回答が得られています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	2		・本児が保育園活動を円滑に進めるために必要なことについて専門的な立場から保護者へ伝えて頂き、徐々に課題解決に繋がってきている。	・課題や困りごとの共有に努め、具体的な支援内容を提案できるよう研鑽したいと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			・忙しい中、保護者や園の実情に応じて日程調整に尽力いただき、都度柔軟な対応をして下さり満足しています。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・今後も発達段階や特性を踏まえた関わり方や、本園の保育環境整備等について専門的な立場からの助言を頂き、本園の支援の質の向上に繋げていきたいと思ひます。</p> <p>・保育所等訪問を利用することによって、今本児に何を目的としてどのような関わりをしていけば良いのかがとても分かりやすかったです。個別でして下さっている療育は、クラスで取り入れていくことは難しいが、それらの取り組みを生活の中で活かすことができるので、大変良い学びとなっています。引き続き連携を取らせて頂きながら支援していきたいと思ひます。</p> <p>・子ども、保護者との信頼関係作りがスムーズで、話し合いも分かりやすく進めて頂き、助かっています。今後は専門的なアドバイスや病院への繋ぎ等もアドバイスして頂きたいです。</p>					<p>・今年度より8年ぶりに運営を再開してまいります。お子さんが保育園という集団活動の中において、特性を理解され自らの力が発揮できるよう引き続き支援を重ねて参りたいと思ひます。そのためには、私共くるみ園の訪問支援技術を益々高めていかなければなりませんので、引き続き研鑽に努めて参りたいと思ひます。各事業所様からの過大な評価に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>・保育園との話し合いの時間は非常に貴重なお時間です。お子さんのへの関わり方に一貫性が担保できるよう、次年度も訪問支援日当日には必ず支援の振り返りを行いたいと思っております。引き続きどうかご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター くるみ園		公表日 2026/2/24 回答者 3名全員回収		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		・子どもの発達段階に適した手作りを含む教材を毎回持参して実施している。	・おじさんの発達像にコミットした支援を行う上で、発達像を評価する為のアセスメントには注力するようにしたいと思います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・定期的にモニタリングとして担当の相談支援専門員が同席して下さったり、保育園の先生方も交えて関わって頂いている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・訪問先の保育園は担任保育士のみではなく、園長、チームも参加して頂いている。また、ご家族も両親が交代で参加してくれている。	・毎回の訪問についての報告は都度関係職員で報告会を行っています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			・月2回の訪問ですので、なるべく毎回保護者さんを交えた振り返りが出来ればと思います。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			・今年度より実施させていただきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		・毎年行っています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			・研修内容の見直しが必要と思います。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			・保護者や保育園等の先生方の思いが主語にならないように、子どもの気持ちを念頭においた検討を行いたいと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			・担任の先生への聞き取りは丁寧に来ていない点があるように感じています。もう少し事前の担当者会に時間を割きたいと思います。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・園の活動内容も事前に何つつうえで協力して集団参加の場面や個別活動の時間を決めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・直接支援と間接支援を必ず同日に行うことを心がけています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・1番念頭に置かなければならない当然のことと認識しています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・かなり細かく記載していると思います。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・ 当たり前のことと認識しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・ 連携は常に図ることを意識しております。 必要に応じて連携会議を開催しております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			・ 就学前の利用契約児がおりません。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・ 年間研修計画を作成しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		・ 2名参画しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			・ 日程調整等の難しさがあります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	・ 家庭の様子を伺い、具体的な取り組みを確認し、その後の経過も伺いながら関りのポイントを伝えている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・ 児発管が行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・ 事前に関係職員が顔を合わせて行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・ アセスメントには時間を掛けてますが、特に子どもの発達段階を把握することには時間を掛けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・ 得ています	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・ 随時実施するように心がけていますが、保育園等で解決すべき内容も含まれていることが多いため、訪問先と連携が大切です。	・ 訪問させて頂いている事業所前と保護者との関係性のほうが強くないように、役割を明確にしないと誤解を招く結果になりかねません。訪問事業所が不備感を抱くことのないよう、自課からの関係を大切にしないようはなりません。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3		・ 設置出来ていない為、今後検討が必要です。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・ 行うよう心掛けています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3		・ 発信できていない為、センター等の広報誌と連動できるか検討したいと思います。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3		・全てマニュアルは作成しているが、訓練までには実施できていない。通園している保育所等では行っているが、他の実施事業所とも確認してみたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			